

政策目標の設定

政策目標（素案）【第一回委員会提示】

H30アンケートを補完する目的で、昨今の社会情勢（新型コロナ・能登半島地震）も踏まえた山陰近畿自動車道に対する意見聴取を追加実施

達成すべき政策目標（素案）

委員会のご意見・意識調査結果を踏まえ、
必要に応じて修正し、政策目標（案）を作成（次回委員会で審議）

3次救急医療機
関への速達性・
確実性の確保

地域産業の
活性化

観光振興の
促進

通行止め時に機
能するネット
ワーク（代替
性）の確保

安全性・走行性
の向上

政策目標（案）を実現するルート複数案を作成（次回委員会で審議）

政策目標

○ 政策目標（素案）に対する前回委員会のご意見とアンケート結果を踏まえ、**政策目標の表現を修正し、政策目標を設定。**

達成すべき政策目標（素案）

3次救急医療機関への速達性・
確実性の確保

地域産業の
活性化

観光振興の
促進

通行止め時に機能するネットワーク（代替性）の確保

安全性・走行性の
向上

達成すべき政策目標

持続可能で暮らしやすい
地域づくり

地域産業の
活性化

観光振興の
促進

事故、災害時にも機能するネットワークの確保

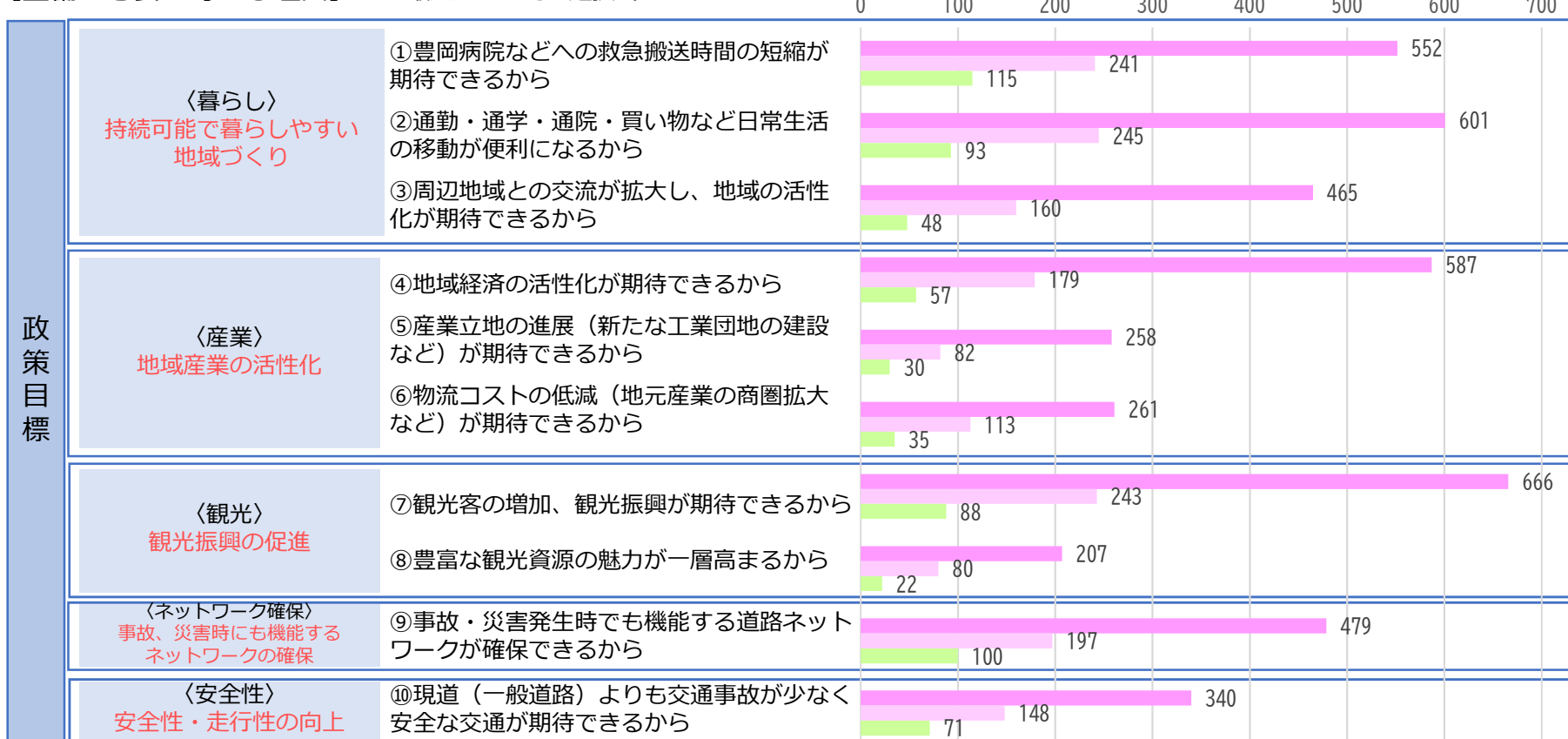
安全性・走行性の
向上

【参考】第1回意見聴取結果との対比

- 第1回意見聴取の結果、山陰近畿自動車道の整備が必要と考える理由として、医療機関への救急搬送時間短縮や日常生活の利便性向上、観光振興の促進と言った意見が特に多くみられた。
- その他項目についても「必要」「どちらかといえば必要」という意見が多く、**今回設定した政策目標は地域住民や道路利用者のニーズに合致**している結果であった。

【整備は必要と考える理由】

※最大4つまでの選択式



総回答数 2,293人

■必要 ■どちらかといえば必要 ■どちらともいえない